

令和2年4月9日

東京都少年サッカー連盟
ブロック委員長 各位
(全チーム)

(公財)東京都サッカー協会
東京都少年サッカー連盟
委員長 吉實 雄二
(公印省略)

「緊急事態宣言発令後の・大会・試合予定等について」

—お知らせ—

少年連盟は主催する行事の順延、中止を6月30日(火)まで延長する事を決定しました。
※状況によって修正する可能性があること、ご承知おきください。

平素は、東京都少年サッカー連盟(以下、少年連盟)の事業にご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。

「緊急事態宣言」が発令され外出自粛を守ることが重要となりました。予定していたブロック予選が出来ないこと、今後の大会開催を予定の時期に試合を臨むことは選手の安全面、健康面からも感染の危険を避ける事とし、少年連盟主催の大会、試合を順延することを協賛社、少年連盟とで協議した結果、下記(1~4)に変更することといたしました。

1、「ハトマークフェアプレーカップ」は中止とする。(伝達済み)

2、リーグ戦に付いて(緊急事態宣言に伴う特例)

- ・全日本 U-12 選手権ブロック予選とは切り離す。
 - ・リーグ戦開始日は6月30日以降で安心、安全が確認できてからとする。
 - ・前後期では行わずに半期分を年度内(早い時期を目標)までに終了させる。
(結果は次年度のリーグ組合せに反映させる)
 - ・土日で最大4試合まで認める。(2連休・3連休・4連休でも最大可能試合数は4試合)
 - ・1日の最大可能試合数は2試合までとする。
- * 関東代表決定方法は競技部、リーグ事務局にて提案、役員会にて承認する。

3、全日本 U-12 選手権(緊急事態宣言に伴う特例)

- ・リーグ戦と切り離し6月30日以降で安心、安全を確認し開始、11月1日までにブロック代表チームを選出する。
- ・都大会の日程は変更しない。

4、TOMAS6年生選抜大会(緊急事態宣言に伴う特例)

- ・市区町村選考会、ブロック選考会、天候等を考慮して考えると1ヶ月以上の準備期間が必要と思われるため、協賛社、少年連盟で協議し来春に延期することに決定した。

※開催時期は後日案内する。

5、普及部関係(緊急事態宣言に伴う特例)

- ・ブロックフェスティバルは2回/年の予定ですが、1回以上/年とする。

*夏休み前は活動が見込めないため。

6、会議、抽選会について

※会場が利用可能になるまでは下記の対応とする。

- ・諸会議(役員会、運営委員会)は当面の間、TV会議(スマホ)、メールにて行います。
- ・各抽選は役員会にて厳正に行い結果をメールにて報告する。

各ブロック、各チーム、選手、保護者の皆様におかれましては、今般の事情をご賢察の上にご理解頂きますようお願い申し上げます。なお、日常のチーム活動におかれましても、引き続き感染拡大を防止し、感染の流行を早期に収束させることが出来るよう、徹底した対策を講じていただきますよう重ねてお願い申し上げます。